

平成26年度第2回「先進的ICT利活用教育推進事業」成果発表会

金立特別支援学校の取り組み

佐賀県立金立特別支援学校

教諭 吉中 竜也

金立特別支援学校の紹介

肢体不自由児が通う特別支援学校



本校舎と分校舎

本校舎

小学部
中学部
高等部（含む訪問教育）

主に自宅通学生



分校舎

小学部（含む訪問教育）
中学部（含む訪問教育）

主に整肢学園入所生



体育館やグラウンド、プール等は共用しています

学校の教育目標

将来の自立した生活を目指します

校訓

明るく

正しく

たくましく

2015.10.15
[Red Seal]

ICT利活用教育の取組み

- 1 . 困難さの改善・克服のための
ICT利活用
- 2 . 「明るく・正しく・たくましく」
生きる力の育成
- 3 . 教職員の専門性向上

障害による学習上又は生活上の困難さとは？

例えば...

両手に麻痺があるので、字が思うように書けない



そこで...

学習用PCを用いれば、楽に入力できた！



困難さの改善・克服のためのICT利活用のためには

児童・生徒の実態把握



個に応じたICT利活用の検討



授業実践



有効性の検証



個別の支援計画

ICT利活用教育の取組み

- 1 . 困難さの改善・克服のためのICT利活用
- 2 . 「明るく・正しく・たくましく」
生きる力の育成
- 3 . 教職員の専門性向上

今年度の学校教育目標

個に応じた教育の実現
基礎・基本を重視し、生きる力を育む
生涯教育の支援
健康・安全教育の充実
豊かな人間性や社会性の涵養

必要な場面で
効果的に
個に応じた

ICT

ICT利活用教育の取組み

- 1 . 困難さの改善・克服のためのICT利活用
- 2 . 「明るく・正しく・たくましく」
生きる力の育成
- 3 . 教職員の専門性向上

教職員の専門性向上のために

新任者研修



新任者 40名

専門研修



キネクト等を用いた指導法

実践事例報告会



障害に応じたICT利活用法

個に応じた適切な指導

実践事例の紹介

学習用PCの活用



学習用P Cの活用

自立活動では...

目標（学習指導要領）

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。

内容

健康の保持
心理的な安定
人間関係の形成
環境の把握
身体の動き
コミュニケーション

学習用 P C の活用 ~ 自立活動での事例 ~

児童生徒の実態

- ・ 重複学級、全介助、車いす
- ・ 追視できる、上肢の動き困難
- ・ 歌を好む

ねらい

- ・ 腹臥位の姿勢で、視線を指導者やiPadに向けることができる。
- ・ 自分の意思で右上肢でiPadのディスプレイに触れることができる。

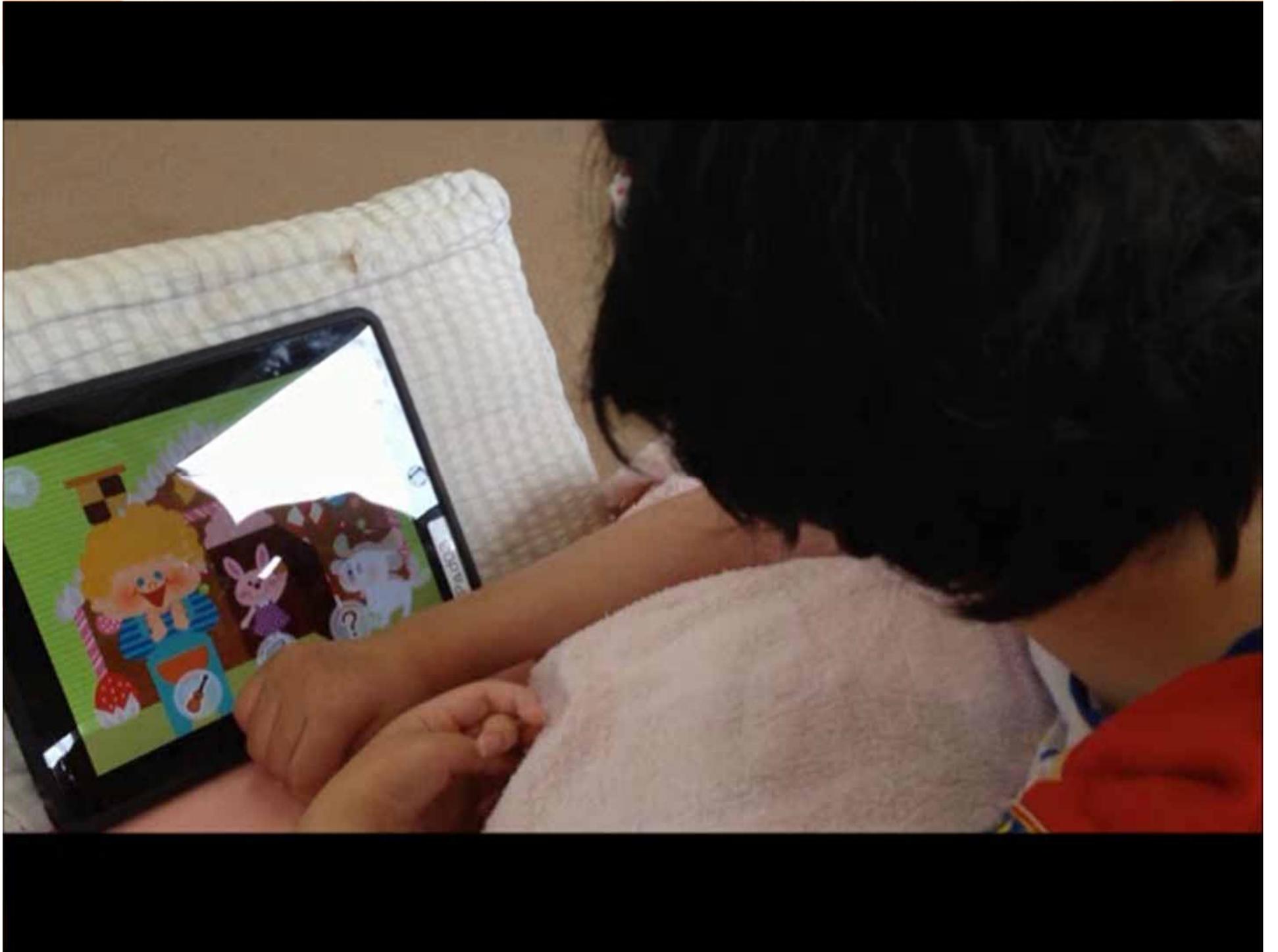
I C T の利活用

- ・ iPadアプリ「うたえほん」
- ・ 童謡に合わせて画面にタッチすると音が鳴る

4 本時の活動

時間	活動内容	指導者の留意点と支援	備考
10:00	1 始めのあいさつ	・生徒と目線を合わせてあいさつをする。	..
	2 マッサージ ・ストレッチ	・脊柱を伸ばすなどの体幹のストレッチをして、身体の緊張を緩める。	..
10:17	3 姿勢変換 (背臥位→腹臥位)	・2人介助で行う。 ・腹臥位にする際は、 <u>臍</u> 部分を圧迫しないように、クッションなどで保護する。	..
10:20	4 「うたえほん」の活動		iPad
	①iPad に目線向け る	・腹臥位で上肢を前に出した姿勢をとらせる。 ・言葉かけをして頭を上げて周りを見るよう促す。	..
	②iPad に触れる	・指導者と一緒に一度、音を鳴らしてみ、右手の動きと音の因果関係が分かるような言葉かけを行う。 ・右手が触れられる程度のところに iPad を置き、楽器の音をならせるようにする。 ・右手を動かしたら大いに賞賛し、次の意欲につなげる。	..
10:35	5 姿勢変換 (腹臥位→背臥位)	・2人介助で行う。	
10:40	6 終わりのあいさつ	・生徒と目線を合わせてあいさつをする。	

※太枠は ICT 活用場面



I C T を利活用することで...

意欲的に楽しく学習を進めることができた
学習用 P C に触れ、画面や音等の変化を感じ取る
ことで、

認知

運動・動作

コミュニケーション

の力を高めることにつながった

- ・ 継続して行うこと
- ・ 授業の評価を行い、次回に生かす

学習用 P C の活用

教科学習では...

上肢に障害があり筆記が困難



- ・ 文字入力用の支援機器として用いる
- ・ 個に応じたワークシートを配信する

学習の効率が高まった

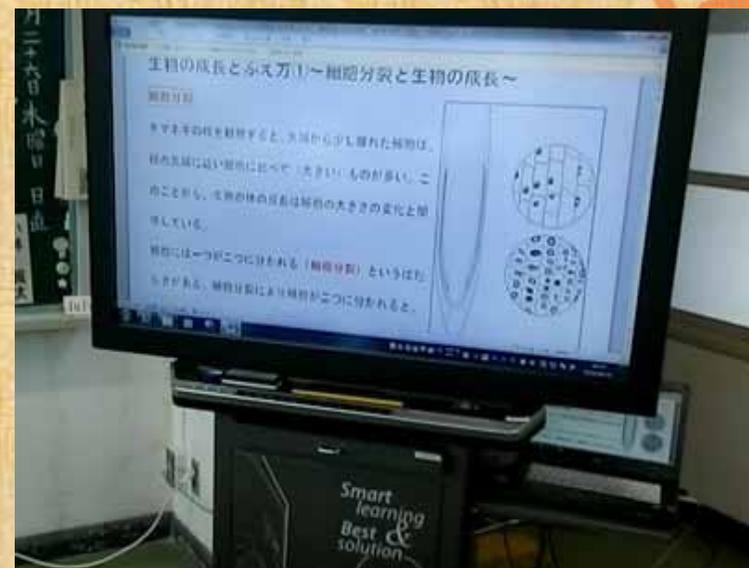
電子黒板の活用

通常の学級では

デジタル教材の提示



学習の効果を高める



電子黒板の活用

重複障害学級では

朝の会で...
順序やスケジュールの提示



活動に見通しを持たせる



電子黒板の活用

重複障害学級では

2者択一の選択肢の提示



認知力の向上



キネクトの活用

キネクトとは...

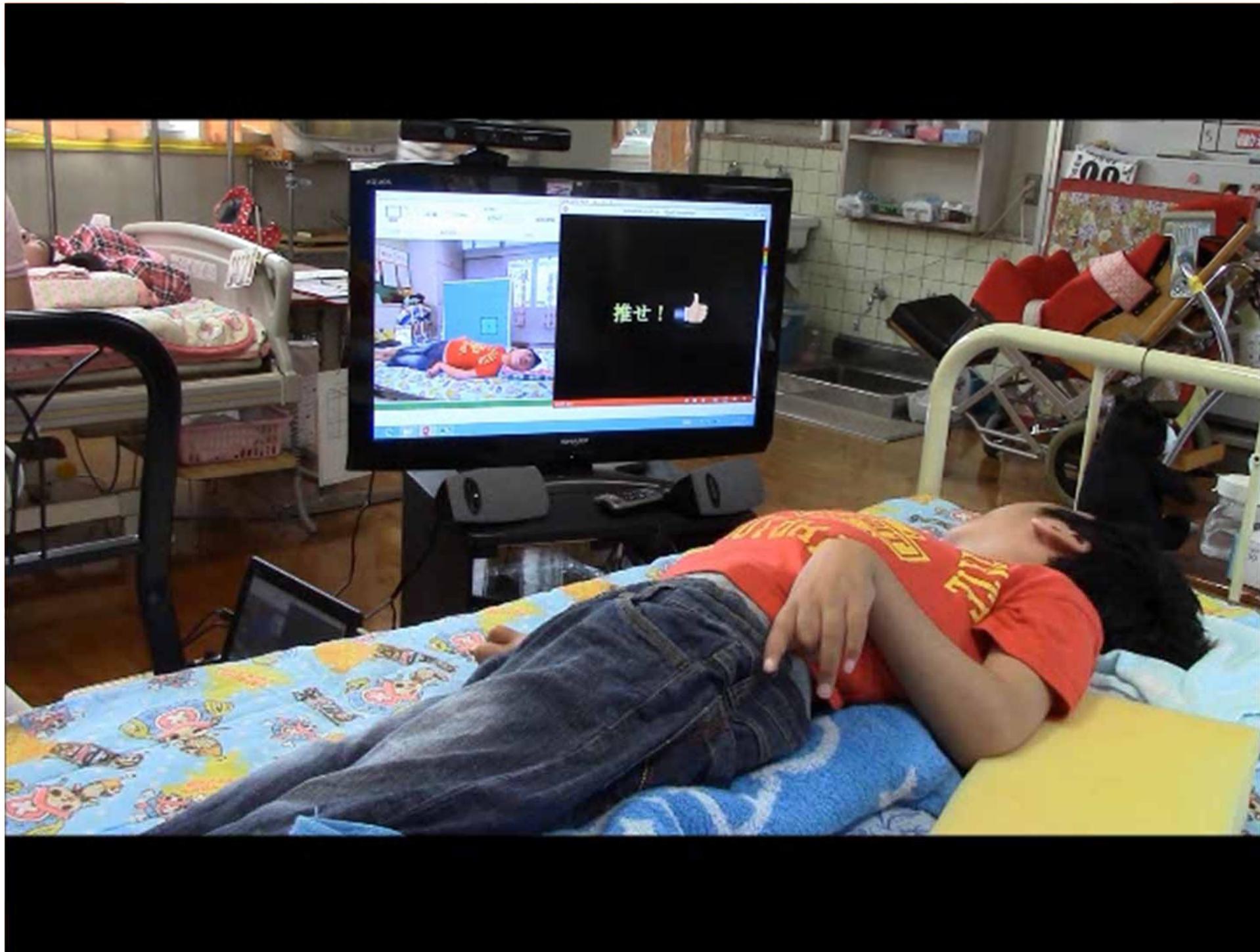
ジェスチャーや音声でパソコンを操作できる非接触型入力装置。
当初ゲーム用として開発されたが、肢体不自由障害児者への活用が広がっている

運動機能障害が重く、学習用PCに触れることが困難な児童生徒



身体の一部を動かすことでPC操作を行うことができる
身体の微細な動きで電子紙芝居やゲームを楽しむことができた





交流活動での活用

iPadのFaceTime使用



県内外の特別支援学校との交流を行うことで、
楽しみながら自己表現ができ、社会性を広げ
ることにつながった

今後の展望

児童生徒の実態に応じて、**継続して**使用することで**学習効果が高まった**

さらに...

小・中・高等部で**連携**をとり、各学部を卒業しても、**一貫した指導**ができる体制づくりを行う

今後の展望

児童生徒の学習に適した環境づくり

そのために...

ハード・ソフト面の充実
個に応じた補助具等の作成
教職員のスキルアップ
実践事例の蓄積

校訓

明子人

学人

志人

明子人

